

4/27 備中地域局
ふるさとの人に見てもらいたい



作品を寄贈した宮本工さん(中)

日本美術展覧会などで活躍した、備中町出身の彫刻家・宮本隆氏(1917～2014年)の作品14点が遺族から市に寄贈されました。

宮本氏が生前、「ふるさと高梁市の皆さんに作品を見てもらいたい」と言っていたことから実現しました。遺族の工さんは、「父の自信作。たくさんの方に作品を楽しんでほしい」と平田教育長に目録を手渡しました。

4/26 日名交流館かぐら
備中神楽の魅力伝える



松尾明神と手伝いの酒づくり

江戸時代後期の神官で現在の備中神楽の基礎を確立した西林國橋を顕彰する、「國橋まつり大神楽」(同実行委員会・主催)が開かれました。

神楽神事に引き続き、「岩戸開き」、「国譲り」、「大蛇退治」が披露され、訪れた約1000人の神楽ファンらは、県内屈指の神楽太夫が熱演する、勇壮で躍動感にあふれる舞いにじっくりと見入っていました。

4/17 観光駐車場
ぼんばすで総社市と高梁市を巡る



発表後握手を交わす片岡総社市長(左)と近藤高梁市長

総社市と高梁市は、両市の産業・観光分野での包括連携協定に基づく初の事業として、「方谷と雪舟をつなぐタイムスリップ・ぼんねっとバス」ツアーを発表。29日に実施しました。

ツアーは、高梁市が所有するボンネットバスを使用。両市の観光地を結び、重要文化財の特別公開など、プレミアム感を醸し出しました。今後も季節に応じたツアーを開催する予定です。

4/9 有漢こども園
こども園オープン



園歌を歌い開園を喜ぶ児童

教育と保育を一体的に行い、地域での子育て支援の拠点となる、認定こども園が開園しました。有漢こども園には、0歳児から5歳児の73人が入園。オープン式典があり、テープカットの後、風船を飛ばして、児童や関係者、地域住民らが開園を祝いました。

10日、川上こども園でもオープン式があり、50人が入園しました。

5/10 津山陸上競技場
頑張れ！シャルム！



先制点を決め喜ぶ吉備国大イレブン

女子サッカー・なでしこリーグ2部第8節で、FC吉備国際大学シャルムは日体大と対戦し、先制点を決めたものの1-2で逆転負けしました。

シャルムはここまで、1勝1分け6敗と苦戦しています。次のホーム戦は、5月23日(土)に岡山市のシティライトスタジアムで、ASハリマアルビオンと対戦。皆さんの熱い応援をよろしくお願いします。

4/26 落合ふれあい公園
快晴の空に飛んでいけ！



滞空時間を競うソフトグライダー飛ばし大会

「落合ふれあい公園まつり」(高梁商工会議所落合支部主催)が行われ、多くの家族連れがゴールデンウィークの一日を楽しみました。

子どもたちは、ソフトグライダー飛ばし大会などの楽しいイベントに大満足。ダンスグループのミンティアの華麗なダンスに見入り、会員が手作りした、ラーメンや焼きそば、うどんを味わっていました。

4/19 弥高山公園
ツツジに彩られた弥高山を満喫



見頃を迎えたツツジが来場者を歓迎

「春らんまん！弥高つつじ祭」(川上町観光協会主催)が開かれ、市内外から訪れた多くの人が見頃を迎えたツツジと多彩なイベントを楽しみました。

ステージでは、渡り拍子、子ども神楽などが披露され、「備中高梁伝えたいし！」のシンガーソングライター・まつもとななみさんのミニライブや歌謡ショーで大いに盛り上がりしました。

4/12 総合文化会館
ふるさとの唄を再発見



会場と一体になって松山踊りを踊る

新市発足10周年を記念して、NHK総合テレビ「民謡魂 ふるさとの唄」の公開録画(NHK岡山放送局・高梁市主催)が行われました。

この番組は、伝統的な民謡に加え、ふるさとの唄、郷土芸能を通して、日本の伝統音楽を伝えるもの。高瀬舟にまつわる民謡や逸話も紹介され、会場を埋めた約750人が民謡の素晴らしさを堪能しました。